

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START）
大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援
Greater Tokyo Innovation Ecosystem
（GTIE）
起業活動支援プログラム
研究開発課題（GAP ファンド）
メンタリング支援
募集要領

2022年6月

本募集は起業活動支援プログラム 研究開発課題（GAP ファンド）の研究課題決定に先立って始めるものです。このため、この決定に応じて、メンタリングの支援対象となる研究チームの対象数、契約金額などに変更・調整が生じる可能性がありますことあらかじめご了承ください。

GTIE 参画研究機関等

<GTIE 主幹機関（共同主幹）>

東京大学
早稲田大学
東京工業大学

<GTIE 共同機関（大学）※大学のみ掲載>

筑波大学
千葉大学
東京農工大学
お茶の水女子大学
横浜国立大学
横浜市立大学
神奈川県立保健福祉大学
東京都立大学
東京医科歯科大学
慶應義塾大学

1. 事業の概要・趣旨

本プラットフォーム事業（以下「本事業」という。）は、科学技術振興機構（以下「JST」という。）が委託する大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援 起業活動支援プログラム¹（以下「事業」という。）のうち、令和3年度（補正）増額申請として措置された予算により実施するもので、大学から生まれる優れた技術シーズの実用化やアントレプレナーシップ人材の育成を強力に支援し、コロナ後の社会変革や社会課題解決に繋がる社会的インパクトの大きいスタートアップが持続的に創出される体制を構築することを目的としています。また、「起業活動支援プログラム」においては特に、Greater Tokyo Innovation Ecosystem（GTIE）（以下「GTIE」という。）プラットフォーム²に参画する大学に対し支援が行われます。

GTIEは、共同主幹3大学（東京大学、東京工業大学、早稲田大学）および共同機関9大学（筑波大学、千葉大学、東京農工大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、横浜市立大学、神奈川県立保健福祉大学、東京都立大学、東京医科歯科大学、慶應義塾大学）および幹事自治体である東京都等のコンソーシアム内の様々な外部協力機関や他のプラットフォームとともに、東京を中心とする地域におけるグローバルなスタートアップ・エコシステムの育成・醸成を目指します。

本プログラムでは、プラットフォームに参加する大学の革新的技術シーズを基にグローバル市場を目指す大学等発ベンチャーやSDGsの達成にも資する社会的インパクトの高い大学等発ベンチャーを創出するため、GTIEに所属する大学研究者へ向け研究開発課題の募集をいたします。研究開発課題として決定された研究チーム（以下「研究チーム」という。）には、研究開発費（GAPファンド）が支給され、本募集にて参画するメンター等のサポートの下、起業や次のステージの研究開発資金獲得（JSTのSTART等）を目指し、研究開発活動を行います。

このため、本公募においては、GAPファンドの研究開発をサポートし事業化等への支援を行うメンターを担当する機関を募集いたします。

¹ <https://www.jst.go.jp/start/su-ecosys/index.html>

² 内閣府 HP：<https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20200714.html>

2. 募集・選考

2.1 募集の対象となる機関：

以下のすべてを満たす機関。

- 1) スタートアップ育成の支援実績を有する機関
- 2) スタートアップ支援実績を有する個人（2名以上）※をメンターとしてアサインできる機関
- 3) 日本国内に法人格を有する機関
- 4) 補助金交付等の停止および契約に係る指名停止措置に該当していない機関

※1 機関のメンターの人数はスタートアップの支援が可能な2名以上を必須とします。この2名以外に補助業務等を行うジュニアポジションおよびアシスタント等の参加は適宜可能とします。

2.2 募集期間・選考スケジュール：

募集期間 2022年6月12日（金）～2022年7月14日（木）正午

- ・ 募集説明会を2022年6月21日（火）に実施を予定しています。
- ・ 審査書類についての質問や、追加資料の提出などをお願いする場合があります。
- ・ 非公開の書面審査を実施し採択者を決定します。
- ・ 採択者の決定は2022年7月頃を予定しています。
- ・ 全ての申請者に審査結果を通知します。

2.3 活動期間：

8月中（予定）～2023年3月

2.4 契約金額（上限額）：

1機関100万円（税込み）未満とする。

2.4 採択予定件数：10機関程度

研究チームの決定状況によっては、メンターの採択機関数が増減する可能性があります。

2.5 対象となるコース（コースの説明はP.6参照）：

スタンダードコースの研究チームに対するメンタリング支援を依頼します。

※グローバルコースの研究チームへの支援については、契約業務の対象とはせず、通常の投資候補先支援となります。

3. 応募要件と活動実施要件

3.1 応募の要件

応募には次に記載する1)～3)すべての条件を満たしてください。

また、4)～7)の条件を満たすことが望ましく、グローバルコースの支援を希望する場合は5)の条件を満たすことを必須とします。

- 1) ディープテックスタートアップ支援の経験を有していること。
- 2) 組織的ネットワークを生かした支援等の対応が可能であること。
- 3) GTIE、研究者の所属する大学等と協力して研究チームの支援を実施する熱意を有し、GTIE プラットフォームが目指すエコシステム³の形成について、その趣旨を理解の上、貢献する意思を有すること。
- 4) 大学発スタートアップの支援経験を有していること。
- 5) スタートアップへの出資機能を有し、GTIE GAP ファンド支援終了後に資金調達の支援、戦略を実施できる機能を有していること。
- 6) スタートアップ支援の結果としてEXIT（IPO、M&A）の実績を有していること。
- 7) スタートアップの海外進出支援の実績を有するまたは海外ネットワークを有すること。

3.2 活動要件

本事業の目的を遂行するために、メンター（1組2名以上のチームをいう。以下同じ。）に求める活動要件としては、メンタリングを担当する研究チームのアドバイザーとしてのみならず、チームメンバーの一員としてプロジェクトをけん引し、同時に投資家として事業の成長を支援する役割を期待します。したがって、期待される事業化ノウハウを有さず十分なスタートアップ支援ができない場合はメンターになることはできません。

3.3 メンタリング実施概要

1) メンタリングの対象となる研究チーム

本契約業務のメンタリングは「スタンダードコース」が対象となります。

また、「スタンダードコース」のメンターとして採択された機関のうち、「グローバルコース」の支援を希望される機関は「スタンダードコース」の支援とは別に「グローバルコース」の研究チームを支援することも可能です。

ただし、「グローバルコース」の研究チームの支援に対しては、GAP ファンドの研究終了後適切なタイミングでの資金調達等の具体的な戦略・計画の提示が行われ、出資を検討いただくことが期待されています。このため、「グローバルコース」も担当する場合、応募機関自身の投資業務の一環として支援を実施していただきますので、「グロ

³ GTIE の概要： <https://gtie.jp/>

ーバルコース」に対するメンタリングは本契約業務の対象とはなりません。

応募時点において「グローバルコース」支援の希望を確認させていただきます。

なお、GAP ファンドのコースの説明は以下の表のとおりです。

コース名	(1) グローバルコース	(2) ユニコンコース	(3) スタンダードコース
採択予定 件数	最大 5 件	最大 4 件	10 件程度
実施内容	世界市場を狙うスタートアップ創出を目指す事業化活動（実証実験、試作品製作、第三者データ取得等）を行います。 出資検討可能な VC によるメンタリングを実施します。	海外進出の足場づくりを目指し、現地パートナー作り（専門家との戦略協議）、交渉の実践（現地訪問：米国）を行います。 海外進出のための試作等を行います。	研究成果の事業化に向けた研究開発・事業化活動（実験、市場・特許調査、事業化検討）を行います。 基礎から実践まで幅広いアントレプログラム受講 VC 等によるメンタリングを実施します。
募集 シーズ	大学等の技術シーズをベースにした SDGs の達成や地域の社会課題解決にも資するもの		
	GTIE が指定する 8 分野（ライフサイエンス① ヒト（医療・創薬）、ライフサイエンス② 基礎領域・ヒト以外、アグリ・フード、量子コンピュータ・半導体、材料・素材、GX、DX、航空・宇宙）	バイオ・医療、ヘルスケア、アグリ、材料等のディープテック分野	ディープテック全般または社会課題解決シーズ

※「グローバルコース」は 7 月下旬「ユニコンコース」、「スタンダードコース」は 8 月上旬に研究チームが決定される予定です。

2) 担当する研究チームの決定

メンターと研究チームとのチームアップのため、事前に対象となる研究者の申請書と面接審査時の動画を共有した上で、研究チームとのマッチング（面談）を実施します。面談後にメンター、研究チーム双方の希望をヒアリングし、担当する研究チームを決定します。

3) 担当研究チームの支援・管理

メンターは「スタンダードコース」の研究チーム 1 チームを担当しメンタリング支援（事業計画の策定支援、ピッチ・プレゼンテーションの指導等）を行います。

担当する研究チームに対して、月 2 回以上の面接（オンライン実施可）および、

GTIE が推奨するアプリを使用した進捗管理を行います。アプリの使用は進捗管理報告とみなされます。また、研究チームからの問い合わせ等に対しては適切に対応を行っていただきます。

※「グローバルコース」の研究チームも担当する場合、「スタンダードコース」の研究チームと同様にメンタリングが実施されることを期待します。

4) 担当外の研究チームとの交流およびコミュニケーション

本プログラム内で行うイベント等の機会を活用し、担当する研究チーム以外のチームとも積極的にコミュニケーションを図ることを期待します。

5) GTIE および大学との協力

メンターは担当する研究チームの研究者だけでなく、当該研究者の所属大学の「事業化ファシリテーター」（担当者）および研究者が所属する大学等、GTIE と一体となって本プロジェクトを実施していただきます。研究チームに問題が発生した場合は、問題を早急に GTIE 東京工業大学事務局に共有していただきます。

6) GTIE GAP ファンド関連イベントへの参加

本プログラムでは、期間中に 3 回のイベントを予定しています。イベント内で積極的に他の研究チーム、GTIE PF の大学、民間機関等の参画者等との交流を図ることと、GTIE プラットフォームが目指すエコシステムの形成への協力を期待します。

- ・ キックオフ（9 月または 10 月の 1 日を予定）
- ・ 中間キャンプ（11 月頃に 2 日間を予定）
- ・ Demo Day（2 月または 3 月の 2 日間を予定）

なお、全ての研究チームは、Demo Day で事業化に向けたビジネスモデルや研究開発成果を発表することを義務付けられています。

7) JST の依頼への対応

JST からのヒアリング対応等、依頼があった場合には面談・会議への参加等の協力をお願いします。

4. 応募方法等

4.1 申請に必要な書類

1	申請書（作成したシートを順番に一つの PDF ファイルにまとめること） ※様式は Web サイトからダウンロードのこと
2	決算報告書（直近 3 期）または有価証券報告書（同左）
3	納税証明書（その 1）（国税、直近 3 期） 直近 3 期の決算において経常損失を計上している場合提出をお願いします。

4.2 申請書の様式

1	1.1	申請者が所属する機関の組織の概要、JST 事業、大学等との関連実績
	1.2	申請者が所属する機関の実績等、研究者チームへの支援計画・考え方
	1.3	申請者個人の略歴・実績・強み等（参画を予定する全てのメンバー）
	別紙	ファンド概要（ベンチャーキャピタルファンドを保有する場合）
2	補足	会社資料、補足説明資料（パワーポイント 10 ページ以内）（任意）

4.3 提出方法

作成した申請書を PDF 化したうえで、下記のBOXに保存し、以下のあて先にメールをお送りください。メールのタイトルは「【GTIE GAPファンド メンター募集】機関名」としてください。ファイルアップロードの際は、BOX の説明文に記載するネーミング方法に従ってください。

＜ファイル提出先＞

<https://tokyotech.app.box.com/f/d3361cc5de714765b2dd34ace27af993>

4.4 応募期限：2022 年 7 月 14 日（木）正午

4.5 応募説明会：2022 年 6 月 21 日（火）に実施予定。

5. 審査

審査は、非公開の書面審査にて行われます。また、審査書類についての質問や、追加資料の提出などをお願いする場合があります。

審査にあたっては、次の観点で評価します。

1) 機関としての実績：

ディープテックおよび大学発スタートアップ支援実績等。

2) 個人としての実績：

ディープテックおよび大学発スタートアップ支援実績等。

3) 事業化に向けた支援計画：

事業化に向けて蓋然性の高い計画であるか。支援体制は十分か。活動スケジュールが妥当か等。

6. 選考結果の通知

書面の選考結果を 2022 年 7 月中旬に電子メールにて通知します。

※電子メールは、GTIE 東京工業大学事務局（gtie.tt.admin@sangaku.titech.ac.jp）から発信予定

7. 採択後の手続き

採択が決定された場合には、8 月に GAP ファンド採択された研究チームとのマッチン

グ（オンラインまたは実地）を実施しチームアップを行います。

チームアップ後に、東京工業大学とメンタリングの実施に関する契約の締結を行います。また、併せてメンタリングを行う研究チームの所属する大学との秘密保持契約等を行います。契約の詳細（仕様書）については、事前にご提供可能です。

8. その他留意事項

- 1) メンターとして採択された場合、申請書のうち「様式 1-1. 機関紹介」「様式 1-2. 機関の実績等、研究者チームへの支援計画・考え方」および「様式 1-3. 支援者紹介」は採択された研究チームおよび GTIE 東京工業大学事務局に共有され、担当チームの決定に使用されます。
- 2) 本公募要領は、予告なく改訂することがあります。改訂した場合、本公募要領の右上のバージョン数を変更するとともに、GTIE の web サイトにて改訂概要をお知らせします。

9. 問合せ先

<GTIE 東京工業大学事務局>

研究・産学連携本部イノベーション・デザイン機構（担当：辻本、真尾）

E-mail: gtie.tt.admin@sangaku.titech.ac.jp

以上